



West (第15号)

2023.3.13. 平井 利久

「春季休業へ向けて ~まず英数国の基礎固めを~」

1年生 「勝負の2年生」へ 基礎・基本を固め、まずは2年2月共テ模試まで力を蓄積
 第2学年への備えをしっかりと ~基礎学力と学習習慣を把握~
 ★★学年末後から始業式までの約1ヶ月 = 夏休み以上に重要

2年生 「受験は団体戦」へ 2月共テ模試が本番との相関関係あり
 ⇒ 3年6月マーク模試へ長期的対策を！
 3年0学期ラスト ~受験生としての自覚から~
 ★★学年末後から始業式までの約1ヶ月 = 夏休み以上に重要

◆英数国にある苦手をなくして、1つは得意をつくろう！

昨年の共通テストは平均点が大きく低下しましたが、今年は従前のセンター試験時代の平均点(60%を目指して作成されていた)に戻り、得点も5教科7科目型で文系型 530/900点・理系型 548/900点とほぼ60%となりました。国公立大学の個別試験平均倍率は3~4倍であり、第一関門である共通テストの目標は合計でおよそ70%(630/900点)を超えることと言われています。そこで、仮定として得意科目で80%超、普通で60%、苦手でも何とか50%は得点する場合を、シミュレーションしてみましょう(なお、英数国は200点満点、理社3科目各100点満点です)。

- ①英数国で2つは苦手、1つは普通の場合
 英数国(100+100+120) = 320点 → 理社3科目で310点! ? ⇒ **不可能**
- ②英数国で2つは苦手、1つは得意の場合
 英数国(100+100+170) = 370点 → 理社3科目で260点(87×3) ⇒ **困難**
- ③英数国が3つとも普通の場合
 英数国(120+120+120) = 360点 → 理社3科目で270点(90×3) ⇒ **困難**
- ④英数国で1つは得意、2つは普通の場合
 英数国(170+120+120) = 410点 → 理社3科目で220点(74×3) ⇒ **7割到達**
- ⑤英数国で1つは得意、1つは普通、1つは苦手である場合
 英数国(170+120+100) = 390点 → 理社3科目で240点(80×3) ⇒ **7割到達**

以上から、200点科目の英数国は「2つ苦手があると7割突破は難しいこと」また「1つも得意がないと7割到達は不可能なこと」が分かります。

万遍なく得点が取れることが必要です。不得意分野や不得意科目をまずは平均まで引き上げよう。
 したがって、この春は、まず英数国に集中し、できるだけ苦手教科をつぶし、さらに得意教科を作っておくことが必要なのです。そうすれば、3年生から学習時間の多くを理社に充て、得点源科目を増やすことができます。新年度まで続く貴重な春休みを無為に過ごさず、計画的に過ごしましょう。学年末考査以降はフル日課はないですが、ここを無為に過ごしたら現役合格から遠ざかってしまいます。まず課題を中心に「学習計画を立てる」こと。17日(金)の「スタサポ」や「活用BOOK」「スタディーチャージ」なども含めて、自身の課題と弱点補強を目指すこと。その後は春休み全体の計画を立て、学力強化を図りながら、苦手科目や弱点克服に向けて学習しましょう。

■2024年度 大学入試の基礎知識■

2021年1月から始まった『大学入学共通テスト』は、2024年1月には4回目を迎えます。

そして、複雑で多様化している大学入試の仕組みやスケジュールなど、“大学入試の基本”について必要な知識を再確認しておきましょう。

【1】国公立大学入試

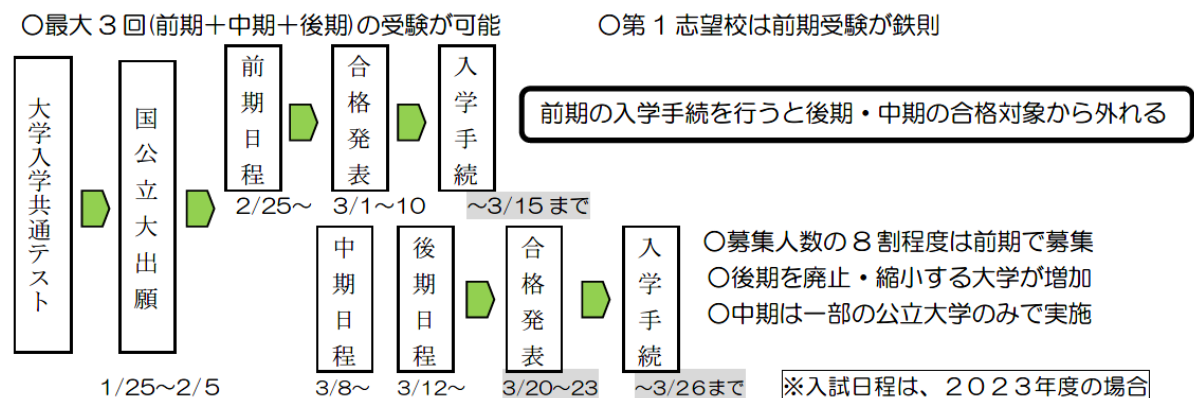
(1) 合格判定・・・大学入学共通テストと2次試験で合格判定

(2) 大学入学共通テスト

- 1月中旬の土日(来年度は2024年1月13日(土)、14日(日)に実施)
 - 2023年1月志願者数：512, 581人 受験者数：474, 051人
 - 国公立大学志願者は原則受験が必要
 - 最大9科目受験可能
 - 解答はマークシート式
 - 試行テストでは平均点が5割程度になるよう作成(センター試験は6割程度)
 - 英語筆記は「リーディング」に改称、「リスニング」と同配点に
- ただし、各大学が成績利用の際に配点比率を変更することは可能

(3) 2次試験・・・分離・分割方式で実施

- 最大3回(前期+中期+後期)の受験が可能



(4) 入試科目・配点・・・大学により異なる

- 共通テスト・・・文系は6教科8科目(理科基礎科目を2科目など)、理系は5教科7科目が一般的
- 2次試験：前期日程の主なパターン・・・2～3教科の学科試験
後期日程の主なパターン・・・小論文、総合問題、面接など。2次試験を課さない大学もあり。

○ 配点比率の例 (2023年度入試の場合)

	共通テスト	2次試験
東京大(全類・前期)	110	440
埼玉大(教養・前期)	900	300
千葉大(法政経・前期)	450	900
埼玉大(工一機械工、システムデザイン、情報工・前期)	800	400
千葉大(工一総合工(機械工、電気電子工、情報工・前期)	450	900
筑波大(社会一国際・前期)	500	800
一橋大(社会・前期)	180	820
東京工業大(全学・前期)	-	750

東工大は、2段階選抜を実施(志願者計が4倍を超えた場合)予定

- ・地方に行くほど、共通テスト配点が高くなる。
- ・「共通テスト」の導入にはじまり、大学受験模様も変化しています。すでに大学入試は、思考力を問う傾向にあります。また、国公立大学の学校推薦型選抜(公募制推薦)、総合選抜型選抜の募集人員は毎年増加しています。総合型選抜では、国公立大学も半数以上実施。大学入学共通テストを課す大学も多くハードルは高いですが、第一志望なら挑む価値があります。大学がどのような生徒を欲しがっているのか重要な情報が詰まっているので、各大学の募集要項やHP上で調べてみましょう。

【2】私立大学入試

(1) 一般入試：大学独自の個別入試

- 大学ごとに方式名をつけている(前期・後期、A方式・B方式など)
- 受験生が受験しやすい工夫・配慮が盛りだくさん
 - ・入試日の複数化
 - ・各都市に試験会場設置
 - ・複数受験で受験料割引
- 複数の入試方式が設定されていることが多い
 - 2教科型・3教科型・得意科目重視型 etc

ポイント

- ・大学によっては、一つの学部学科の複数回受験が可能
- ・負担の軽い方式に、より多くの受験生が集まる傾向

(2) 全学部入試：大学独自の個別入試の1つ

- 学部を横断して統一日程で試験を実施
- 受験機会の拡大
- 1回の試験で複数の学部・学科を併願できる

ポイント

- ・受験負担は軽減されるが、受験料は割引制度があっても増える
- ・自分の意にそぐわない学部に出願してしまう可能性がある

(3) 大学入学共通テスト利用入試

- 共通テストのみの成績で合否が決まるのが主流
- 一般方式と組み合わせ合否判定を行う併用型も増加
- 出願締め切りが共通テスト前と共通テスト後がある
(多くの大学では共通テスト前に締切)
- 経済的・体力的な負担が軽い

ポイント

- ・得点の目安は、MARCHで85%~90%(80%程度の得点では合格できない)
- ・受験料は一般方式と比べて割安
- ・同程度の大学に複数出願してもあまり意味がない(合格してもいけるところは一つ)

(4) 英語外部試験利用入試：外部の英語技能検定試験を利用

- TEAP、GTEC、TOEIC、英検などが対象
- 各大学・学部で基準スコアあり、利用方法(点数加算・基準を満たせば英語試験免除など)も違う

ポイント

- ・大学によって利用できる試験は異なる
- ・検定料は決して安くない
- ・多くの大学では語学を始めとしたグローバル化対応教育に力を入れている

大学入試スケジュール

	総合型選抜		学校推薦型選抜			一般選抜		
	国公立大学 私立大学	私立大学	国公立大学			私立大学		
			大学入学共通テストなし	大学入学共通テストあり	大学入学共通テストと個別学力試験	大学入学共通テストのみ	大学入学共通テストと個別試験の併用	個別試験のみ
2023年6月	大学入学共通テスト実施要項の発表							
7月	選抜要項の発表							
8月								
9月	出願・選考 (合格発表は11月以降)			大学入学共通テスト受験案内配布(9月上旬～)				
10月				大学入学共通テスト出願(10月上旬～中旬)				
11月								
12月		出願・選考 (合格発表は12月以降)	出願・選考 (合格発表は12月以降)	出願・選考		出願	出願	出願
2024年1月	(一部の国公立大・私立大で共通テスト)	大学入学共通テスト 2023年1月14日(土)・15日(日)						
2月	(入学前教育)	(入学前教育)	(入学前教育)	選考	個別学力試験出願 (1月23日～2月1日)		出願	個別試験
3月					前期日程試験 (2月25日以降)		個別試験	
					後期日程試験 (3月12日以降)			

◆高校3年間で振り返って卒業生から1年生へのメッセージ

- ◎高校生活を楽しみながら過ごしてください。
- ◎数学・英語・国語は1年生のうちから手を抜かないでやる。
 - ・大学は偏差値や私立・国公立にかかわらず広い範囲で今の内にたくさん調べておいた方がいい。
 - ・日々の課題・単語テストで満点をとる気で取り組む。
 - ・1年生の国語の助動詞や敬語は大切だったと思う。
 - ・定期テストの点数や順位を気にすることはとても大事。いい点や順位を取れ、ということではなく、自分の勉強の理解度とかモチベの1つの基準として気にするべき。
 - ・一緒に勉強できる友人をつくと励みになるよ！
 - ・理系を選択した人は、理科の勉強に覚悟を持ちましょう。基礎知識の定着は、早ければ早いほどいい。
 - ・英語は単語帳、文法・語法問題集だけでもいいからマジメにやること。その2つの効果はかなり大きい。
 - ・学校から配られる教材を完ぺきになるまで周回すること。それを踏まえて教材、問題は取捨選択してほしい。
 - ・生活リズムはめちゃくちゃ大事。一度崩れると直らないし様々な面で不利になる
 - ・英検にチャレンジしたりボランティアにチャレンジしておいたりする。

◆高校3年間で振り返って卒業生から2年生へのメッセージ

- ◎やっぱり授業が全てだと思う。授業が分かれば、あとは勉強すればするほど伸びる。
- ◎今までやっていない人もまったく遅くない。今から始めれば絶対に結果は変わる。
- ◎模試の復習が一番大切だと思う。1回1回の模試を大切にしよう。
- ◎課題をちゃんとやっておけばよかった。特に英語と数学は毎日やったほうがいい。
 - ・文系だからといって数学を諦めるべきではなかった。部活が忙しかったけど、テストは手を抜かなかった。どの科目も捨てるべきでない。長期休みに勉強を怠らない。
 - ・私は数ⅡBが苦手なまま共通テスト本番になってしまったのですが、数学ⅠAよりも点が高かったのが捨てないでよかったと思いました。ですから科目はできるだけ絞らずに頑張っておいた方がいいと思います。
 - ・すきま時間を有効利用してください。(電車に乗っている時間とか特に。)
 - ・今までの人生の中でおそらく一番勉強する一年間になると思います。
 - ・自分がどの分野が弱いのか等の自己分析の積み重ねが成績向上に繋がるはずです。
 - ・進路を明瞭にしていき、共通テストに向けて問題をこなしていく。
 - ・苦手教科も絶対に点数は伸びるから着実に少しずつ勉強をして、定着させていく。1年後の自分が楽になる。
 - ・直前の模試後から、60点くらい点数が伸びたから、ラストの追い込みは大変だろうけど、やれば結果になって返ってくる。
 - ・基礎を完璧にして、問題の傾向を覚える。考え方を模試等で身につける必要がある。
 - ・3年のはじめからでも真面目に取り組めば絶対間に合うよ！前向きに勉強しよう！
 - ・あと1年しかないと思わずに、1年もあると考えるべき。1年あれば今自分が志望している大学にいけると思う。学力の差は3年の前半にどれくらいやったかにかかっていると思う。